

救命の効果を 高めるために



10月20日(水)、生産機械技術科・電子情報技術科1年生の安全衛生教育の一環として、心肺蘇生法・AEDの使用方を学ぶために、日本赤十字社高知県支部の方を講師としてお招きしました。講師の方の体験談をふまえた話には学生も真剣に耳を傾け、心肺蘇生による命の救い方を学びました。コロナ禍により心肺蘇生法は変化しており、最新の情報については、多くの学生が驚いていました。

この講習の内容を忘れないようにし、いざという時には役立ててください。



一次救命処置の重要性を学び、ケーススタディでイメージトレーニングをします。



頭を叩いてはいけません、肩を軽く叩き反応を確認します。



電極パッドの貼る位置、AEDの準備中にも胸骨圧迫を続けることの重要性などを再確認しました。

